

1 単元名 When is your birthday? 行事・誕生日 (We Can! 1 Unit2)

2 単元の目標  
自分のことをよく知ってもらったり、  
欲しいものなど、具体的な情報を聞き取ったり、  
きる。また、アルファベットの活字体の大文字

3 学習指導要領における関係する領域別目標  
「聞くこと」イ、「話すこと [やり取り]」イ、「書くこと」ア

学習指導要領においては、目標は、5つの領域ごとに「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成する目標を設定している。その設定の仕方にそろえ、3観点に分けた書き方をしていない。  
また、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」一体的に育成する過程を通して、「学びに向かう力、人間性等」を育成することを目指す。

4 単元の評価規準

	知識・技能		
聞くこと	<p>〈知識〉 月日の言い方や、I like/want ~. Do you like/want? What do you like/want? When is your birthday?, その答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	相手のことをよく知ってもらったり、誕生日や好きなものなど、具体的な情報を聞き取っている。	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）〈小学校外国語・外国語活動〉「第2編『内容のまとまりごとの評価規準』を作成する際の手順」 のなど、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと [やり取り]	<p>〈知識〉 月日の言い方や、I like/want ~. Do you like/want ~? What do you like/want? When is your birthday?, その答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、I like/want ~. Do you like/want ~? What do you like/want ~? When is your birthday?, 等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

5 中心となる言語活動  
バースデイカードの相手を探し、他者に配慮しながら「欲しいもの」などについて、尋ねたり答えたりしてやり取り

単元のゴールとなる言語活動であり、この活動に対する目的や場面・状況などに応じた活動が意識されることが、単元において大変重要になる。

6 主な言語材料

[表現] When is your birthday? My birthday is (August 19th). What (sport) do you like? Do you like (soccer)? Yes, I do. / No, I don't. I [like / don't like] (soccer). Do you want (new soccer shoes)? What do you want for your birthday? I want (a dog). This is for you. Thank you. You're welcome. Happy birthday.

[語句] when, birthday, year, 月 (January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December), 季節 (spring, summer, autumn / fall, winter), 序数 (1st~31st), 日本の行事 (New Year's Day / Eve, Children's Day, Dolls' festival), donut

[既出] 活字体 (大文字, 小文字), スポーツ, 身の回りの物など

7 児童の実態

本学級の児童 40 名は、低学年から英語に触れる機会が設けられてきている。クラスルームイングリッシュを介しての指導者とのやり取りには慣れ親しんでおり、相手の話す英語の表現を推測しながら理解し、進んでリアクションをしようとする態度も見られるようになってきている。一方で、相手に自分の考えや思いを伝える際に、目的意識をもたず、表現を覚えなければならないという意識が強くなり、活動に対して消極的になりがちな児童が見られる。また、文字についても 4 年生までのローマ字の学習に苦手意識を感じており、目的意識をもった学びの楽しさに触れられず、不安を抱く児童も少なくない。

8 指導の手立て

本単元の指導の手立てとして、ランダムに配付されたパートカードを伝え合うように、単元の終末の活動を工夫し、専門本時では、前時までの活動で欲しいものなどにさせ、I like (?). My birthday is (?). 等、口頭表現や語句の部分十分に聞かせ、理解ができる。What sport do you like? などのように教師が児童次時へつなげる。

以下のような視点で、本単元、本時ならでの具体的な手立てを簡潔に書く。

- 主体的・対話的で深い学びを展開するための手立て
- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせた授業を展開するための手立て
- 教科等の特性を生かした言語活動の意図
- 児童の実態から、課題に対する手立て 等

9 単元の指導と評価の計画

<p>・ 3(観点)× 5 (領域) における評価は、1 単元ですべて行うことは現実的ではない。単元ごとに、重点的にどの視点で評価を行うか計画を明確にする。</p> <p>・ 単元のなかで、日ごろから児童の様子やワークシート等を観察しながら、実際の「記録に残す評価」をどこで行うのか記す。また、その評価の事前事後に指導者の「指導改善」、児童の「学習改善」をどのように施すのかという見通しももつ。</p> <p>・ 単元の初めからの記録に残す評価も現実的ではない。また、記録に残す評価場面が、1 時間に集中しないよう考慮する。</p> <p>※「記録に残す評価」とは、指導要録や通知表に記す評価を指す。</p>	評 価			
	知 技	思 判	態 度	記録に残す評価場面 (評価方法)
	ト			
	尋 ア	聞		指導者の誕生日についての短い話を聞き、聞き取ったことをワークシートに記入する。
	具 ね べ	聞	聞	【Let's Watch & Think 5】 デジタル教材を視聴して Laksh について分かったこと

	ットの活字の大文字を書くことができる。				をテキストに書く。
6	自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。	や			【Activity 2】 バースデーカードの相手を探し、他者に配慮しながら、カードに書かれていることについてやり取りする。
7	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合ったりすることができる。	や	や		【Activity 2】 バースデーカードの相手を探し、他者に配慮しながら、カードに書かれていることについてやり取りする。

※本単元における「書くこと」については目標に向けて指導は行いが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

### 1 0 本時の目標

誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取ったり、それらについて尋ねたり答えたりして伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。

### 1 1 本時の指

時間		・指導者の活動及び留意点 (ALT:A) ◎評価 (方法)	準備物
		・「本時の目標」「めあて」「記録に残す評価」の評価規準、数名の児童にあいさつ に整合性がなければならない。ドを選ぶ。	デジタル教材
3分	birthday? P13 ・音声に合わせてチャンツを言う。 ・本時のめあてを確認する。	・第3時で誕生日を聞き取ることが不十分な児童がいた場合、補充するためにその月に替えて行う。  誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取ったり、それらについて尋ねたり答えたりして伝え合ったりしよう。	
8分	【Let's Watch & Think 4】 p14 ・デジタル教材を視聴し、Hana について分かったことをテキストに書く。	・場面が把握できるよう、Gilberto と Hana の会話場面であることを確認する。 ・過度の負担がかからないよう、焦点を絞って Hana について分かったことをテキストに書くように指示する。 ・児童の様子を見ながら、ALT と指導者が再現する。 A: 表現を十分に聞かせるように、視聴後、I'm Hana. I like (?). I want (?). と児童に問いかけながら内容を確認し、数名の児童に、When is your birthday? What do you want for your birthday? と尋ね、やり取りを行う。 ・前時までの活動で、欲しいものなどについて聞き取りが十分でない児童に対し、補充を行うために、特にその児童に尋ねながら理解を促し、自信をつけられるようにする。	児童用テキスト
5分	○指導者の誕生日についての話を聞く。 ・指導者がゆっくりはっきり	A: 児童の聞く力を見取るために、指導者が誕生日等について話すことを聞いて、ワークシートに分かったことを記入するように言う。	ワークシート

	<p>話すのを聞いて、分かったことを書く。</p>	<p>A: ゆっくりはっきり話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回聞かせること、聞き終えて記述する時間をとること、日本語で答えること等、事前に説明する。</li> </ul> <p>(指導者の誕生日についての話の例)</p> <p>Hello, everyone. My birthday is September 28<sup>th</sup>. Look, this is my bag. (実際に鞆を見せて) It's old and small. I want a new big blue bag. I like blue. So, I want a new big blue bag for my birthday.</p>	
<p>4分</p>	<p>○メモリー・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでじゃんけんをして、勝った者から右回りで行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスルームイングリッシュや知っている語句や表現をもとに推測しながら話が聞けるよう、ALTと実際にデモンストレーションをして見せながら進め方の例を示す。</li> <li>・Activity 1につなげられるよう、中学年で慣れ親しんだ、好きなものを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりする場を設定する。</li> <li>・カードを贈り合う児童同士は同じグループにならないようにする。</li> </ul>	
<p>12分</p>	<p>【Activity 1】 p14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バースデーカードを贈り合うペアで、誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりする。</li> <li>・インタビュー内容に沿って、相手の好きな色でバースデーカードを飾ったり、好きなものの絵を描いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識をしっかりと取り組めるよう、「相手が喜ぶ」バースデーカードを作成するという点を確認する。</li> <li>・活動が終了したペアには、次の活動までにバースデーカードを作るように事前に伝えておく。</li> <li>・相手の気持ちや考えをよく知るために配慮し、Let's Watch &amp; Think 4でのGilbertoとHanaの会話を想起させる。</li> </ul> <p>A: 相手の誕生日をすでに知っている場合などは、 When is your birthday? January 18<sup>th</sup>? などと確認をするよう促す。</p>	<p>児童用テキスト バースデーカード (前時に使用したもの)</p>
<p>5分</p>	<p>○Let's Read &amp; Write</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バースデーカードに文字を書き写す。カードの所定の場所にHappy Birthday!のHとBを書き写す。 (□appy □irthday!)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことの目的意識をもてるよう、相手がもらって、分かりやすく丁寧に正確に書くことを確認する。</li> <li>・児童が、4線の位置や書き順など意識できるよう、</li> </ul> <p>外国語科においては、授業の初めや終わりに、「帯活動」として「書く活動」「読む活動」が設定されることがある。</p>	<p>バースデーカード (前時に使用したもの) ワークシート</p>
<p>5分</p>	<p>○Sounds and Letters (Z,G,D,B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Z,G,D,Bの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意をはらいながら、ワークシートの4線上に文字を書く。</li> <li>・文字の名称を聞いて書く。</li> </ul>	<p>書く前に、4線上に書かれたアルファベットカードを示しながら、読み方等確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大文字は、全て2階建てであることを確認したり、線にしっかりつけて書くことなどポイントを明確に示したりする。</li> </ul>	<p>(Unit 2-8) デジタル教材</p>
<p>3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返る。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>他教科等と異なり、終末に「まとめ」のような日本語で、本時の学習のまとめを板書することは「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ」た授業においてそぐわないことがある。</p> <p>ただし、児童の振り返りの際に、言語や文化、友達のよさなどの気づきの手掛かりとなる板書などは、有効であると考えられる。</p>	

		<p>取れなかったが、本時に聞き取ることができた児童</p> <p>○ 【Activity1】で、前時よりも自分のことを分かりやすく伝えられる工夫をしていた児童</p>	
--	--	--	--

1 2 板書計画

**めあて**

自分のことをよく知ってもらったり  
相手のことをよく知ったりするために



月を表す絵カード



like



want



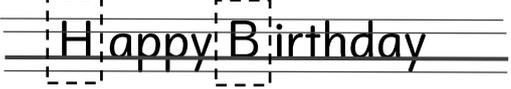
Gilberto

ダンスが好き  
犬が欲しい  
オレンジ色のものが好き  
オレンジ色のカバンが欲しい



Hana

誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取ったり、それらについて尋ねたり答えたりして伝え合ったりしよう。



Happy Birthday

ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ

Z G D V